

7月
新講座

落語 はなし 噺の世界へようこそ!



- 講師 演芸研究家 大友 浩
- 開講日 第3月曜日 13:00~15:00
- 受講料 6ヵ月分 16,830円(税込)

※講師都合により10月分の講義は9月26日に実施いたします。ご了承ください

日本の代表的な伝統芸能である落語を、より身近に楽しんでいただくための講座です。落語の歴史や寄席のしくみ、落語家の抱腹絶倒のエピソードなど、落語の魅力をわかりやすくお伝えします。12月にはゲストに古典派の注目株・春風亭朝之助さんを迎えます。

■7.18 三遊亭圓生の「後家殺し」

六代目三遊亭圓生の名演「後家殺し」をとりあげます。元は上方噺で、義太夫を扱っています。難しい噺ですが、圓生ならではの高い境地を味わいます。

■8.29 「提灯屋」と家紋

庶民が主人公の、いわゆる「長屋噺」のひとつ。江戸庶民の生き生きとした生活感を味わうとともに、ここに登場する「家紋」について考察してみたいと思います。

■9.19 滝田ゆうと落語

戦前の玉の井を描いた『寺島町奇譚』で知られる漫画家・滝田ゆうは、大変な落語通でもありました。彼はまた落語をマンガにした作品も描いています。滝田ゆうの紹介と彼の落語マンガを味わいます。

■9.26 太神楽、その歴史と魅力

「太神楽」は寄席の曲芸で、寄席色物の代表格です。しかし実は、落語や講談よりも長い歴史をもっています。太神楽の歴史を学びながら、近年の代表的演者を紹介します。

■11.21 『鹿の子餅』を読む

笑話本『鹿の子餅』を読んでもみます。この本が成立した明和年間、まさに江戸中期の文化が花開いた時代でした。『鹿の子餅』を江戸文化の流れの中でとらえ、落語を育んだ土壌について思いを馳せます。

■12.19 ゲスト＝春風亭朝之助

古典派の注目株・春風亭朝之助さんをゲストに迎えます。朝之助さんは春風亭一朝師匠に入門、2014年に二ツ目昇進しています。まじめで、人柄もよく、芸も本格派。そんな朝之助さんが見た落語界の今!

※8/29は8/15の振替受講日、9/26は10月分の受講日となります。

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ※受講料には維持管理費が含まれています。
- ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
- ※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
- ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
- ※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ
初めてご入会される方は、
別途登録料550円(税込)が必要です。

QRコードから
簡単申し込み!



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F
☎0120-53-8164
10:00~19:00(日曜日は17:00まで)